

## ○世界銀行

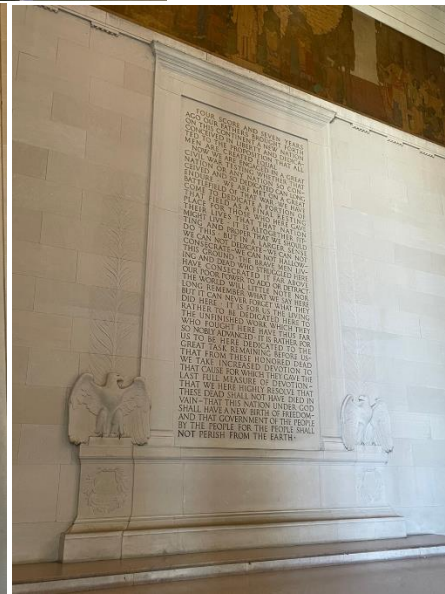
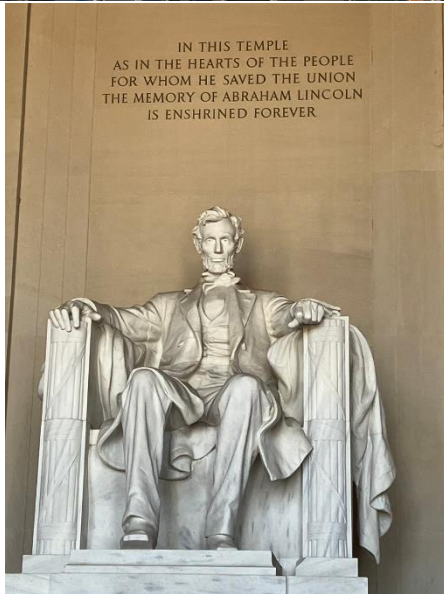
- ・世界銀行ではまず諏訪さんの話を聞きました。自分の興味のあることに向かって失敗しながらも真っ直ぐに向かって夢を実現した諏訪さんはとても格好いいなと思って、憧れました。世界銀行の他の職員の方たちのお話を聞いて、世界銀行の活動、人における分野や国の多様性に驚きました。貧困の撲滅、繁栄の共有という大きな目標に向けて活躍している方々のアドバイスはとても参考になりました。
- ・世界銀行では、前半諏訪理さんをはじめとする様々な職員の方から世界銀行の話、職業選択の話、現在の世界の課題など様々なお話をいただいた。グローバルな話であり、学校で勉強しているだけでは考えることのないような世界規模かつ様々な分野の話にとっても刺激を受けた。「世界『銀行』」と聞くと、お金の貸し借りに関わる仕事をしているイメージが強かったが、お話を聞いて、貧困問題、水問題、防災対策など幅広い分野の分析等をおこなった上での金銭貸与を行なっていることがわかり、様々な文化と知識をもった職員の方々が集まらなければ成り立たない職務なんだと思った。後半は、職員の方との座談形式でのコミュニケーションであった。ジェンダー差別が及ぼす経済発展への悪影響や環境保護と経済開発のバランスなど、短い時間ではあったが、様々なお話ができた。
- ・宇宙飛行士候補である諏訪理さんの講義の中で学んだ「失敗は挑戦の証である。」という言葉に感銘を受けた。自分の中では、諏訪さんは「完璧超人」という印象があったが、諏訪さんは多くの失敗の上で今があるとわかった。諏訪さんの他にもグループで話し合いをしたときに担当された中澤さんに自分の進むべき道について、アドバイスを頂き、大変ためになった。
- ・世界銀行訪問で印象的だったことが3つある。一つは諏訪さんの意志の強さだ。宇宙飛行士という仕事が大変危険ということを考えても「宇宙飛行士に挑戦しないで死ぬ方が自分にとってリスクがある」とおっしゃっているのを聞いてまだまだ私の夢、目標への意志は薄いなと実感させられた。田中さんもおっしゃっていたが、努力+少しだけの行動力が大事であるとふたたび実感させられた。次に貧困問題についてだが、私は貧困問題を改善するためには水資源、食物、衛生面等々を真っ先に改善するべきだと考えていた。が、世界銀行の職員さんがよく口にしていたのは“GAP”を埋めることが大事ということだ。貧困再発防止のためにも経済面でのアプローチも忘れてはならないと感じた。そして私は農業系、生物系に興味があるのだが、西アフリカの方面での農業支援団体FSPDの取り組みに大変感動した。近年の気候変動を考慮した各作物の生産状況を確認し、8つの周辺国で共有をするというシステムだ。詳しいことは聞けなかったが、地球温暖化で水不足が深刻化している世の中で水問題と食料問題というのは緊密な関係になっているのではないかと思った。機会があればぜひお聞きしたいと思う。私は、多くの人の役に立つことができる国際的な仕事をしたいと思っていたが、実際に世界銀行員の方に合わせて私も一緒に働きたいと思った。
- ・世界銀行を訪問し、各部門で働いている方からお話を聞くことができた。基本的な知識や日本との関係、水資源や農業、防災に関しての世界銀行の役割について学んだ。生きた英語を聞き取るのは難しかったが、聞き取れた単語で理解しようと必死で耳を傾けた。



## ○ワシントンDC市内見学

### ●リンカーン記念堂

- ・リンカーン記念堂など、ワシントンの有名な場所を見られたのは楽しかったです。バスから見える景色は全てが新鮮で、アメリカの街並みは面白いなと思いました。桜がたくさん咲いていたのには驚きました。
- ・パルテノン神殿を模範したリンカーン記念堂は、近くで見ると壮大で、堂々とした雰囲気を感じた。またキング牧師の名言「I have a dream」が刻まれており、サイドリーダーでキング牧師の本を読んでいたため、感慨深かった。時間がなく、ゆっくり見学できなかったが、アメリカの歴史を肌で感じる事ができた。



### ●ホワイトハウス(車窓から)



### ●FBI本部(車窓から)





### ○在アメリカ合衆国日本大使館

- ・日本大使館ではまず旧公邸の見学をしました。旧公邸の対称性や、整った造りが昔に作られたとは思えなくて驚きました。大使館の方のお話の中で、大陸棚の中国との議論をしたという話があり、日本の重要な問題を背負って外国とやりとりをする大使館の人は格好いいなと思いました。自分も大使館で働いてみたいと思いました。
- ・午後は日本国大使館を訪問した。旧公邸・大使館内を見学したのち、質疑応答の形で大使館の役割や歴史について知ることができて面白かった。
- ・日本大使館訪問時、私が印象に残ったのは大使館員の方に帰り際に口々に頑張ってるね、と言っていたことだ。些細なことでは有るが自分の憧れである国際的な仕事をしている方に直接応援を受けたということは、私にとって夢を目指す責任を感じるようであった。
- ・日本大使館を訪問し、旧公邸を見学した。左右対称のつくりになっており、日本絵も両側に飾られていた。パイナップルの彫刻があり、なぜなのか不思議に思ったが、「ようこそ」という歓迎の意味があると教えていただいた。大使館に入ることはなかなかできないので、貴重な体験になった。



### ○全体を通して

- ・両施設の職員の方々も共通して言っていたことは、「自分の興味や好奇心を大切にすること」、「恐れずに『挑戦』すること」、「それらがのちにつながって成功に繋がる」ということであった。今回聞いたお話を参考にし、自分の興味のあることややってみたいことに対しては積極的に挑戦していきたいと感じた。
- ・私に今足りないことは、やってみたいことへの情熱であると思った。
- ・全体を通して一番心に残ったのは、「自分の興味関心を大切にすること」、「何か一つのことに一生懸命になること」の2つである。この2つは、世界銀行の方と日本大使館の方が共通して仰っていたことだ。私には初め、この2つが相反するものであるように感じられた。なぜなら、興味関心を大切にすれば、必然的にいろいろなことに手を出さざるを得なくなるからだ。しかし、それぞれの言葉の意味を考え直すと、2つの言葉には共通点があると感じるようになった。それは、「何かに打ち込む」ということだ。話をしてくださった方の多くは何かしらに一生懸命に取り組んだ話をしてきた。「何かに打ち込んだ」という経験は、大きな自信につながる。この自信が、失敗してもめげずに努力し続けることができる精神力の根源なのだろうと思った。もう一つ、印象に残った言葉がある。それは、日本大使館の藍さんが仰っていた「自分の意見を伝えて納得してもらうためには、相手のことを考えることが不可欠である」ということだ。分かっていたことではあるが、日本大使館の方から聞くとまた言葉の重みが違った。国際関係でも、個人間の日常的な会話でも、大切なことは同じなのだと感じた。